

立命館經濟學

第十九卷 第二号

昭和四十五年六月

内 容

論 說

- 日本における鉄道政策の展開……………杉 野 罔 明 1
——とくに第一次大戦後を中心として——
- 『帝国主義論』の方法についての一考察……………島 津 秀 典 50
——『帝国主義論』における展開と分析——

研究ノート

- 資本論における方法と世界観(中, その四)……………梯 明 秀 82
——その残された諸問題の一つについて——

資 料

- 東ドイツにおける民主的土地改革と
農業の社会主義化(二)……………大 藪 輝 雄 101
——シュトラスブルク郡の場合——
- 共同研究室…………… 137

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

論説

実現理論としての成長理論……………建林正喜
高度経済成長過程における『自動

安定装置』と国家所有(素描)……………手嶋正毅

比較生産費説の展開……………清水貞俊

戦時労働市場に関する研究……………三好正巳

研究

ジョン・ロックの

経済理論とその体系性……………稲村勲

研究ノート

県民所得統計の発展と

県民所得標準方式……………後藤文治

資本論における

方法と世界観(中・その二)……………梯明秀

——その残された諸問題の一つについて

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

論説

独占段階における

独自の・資本制的生産様式……………坂本和一

研究ノート

資本論における方法と

世界観(中・その三)……………梯明秀

——その残された諸問題の一つについて——

資料

東ドイツにおける民主的土地改革と

農業の社会主義化(一)……………大藪輝雄

——シュトラスブルク郡の場合——

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会